

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	富沢文洋
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3531
事務事業名	4215 交通安全施設整備事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	03021500 交通安全対策の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080204 土木費・道路橋梁費・交通安全施設費										
	事業	010000 交通安全施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
交通安全対策の充実、交通安全施設の整備を行う。						交通安全施設整備として道路反射鏡、防護柵、区画線、道路標識の新設及び更新を順次進める。市民の交通安全への関心が高く、安全施設に対する要望は多い。万一の事故発生を未然に防ぎ道路管理者の責任を果たす役割は大きい。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置、ゾーン30	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		11,949	7,970
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		11,949	7,970
人員数(人)	正規職員	0.6	0.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,324.8	5,766.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,324.8	5,766.4
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		16,273.8	13,736.4

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,225	消耗品費 修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	8,493	交通安全施設整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	231	安全用品 規制用品原材料

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,347	消耗品費 修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	5,500	交通安全施設整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	123	手数料 補修用材料費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	交通安全施設は生命に関すること、市民の危機意識が高く、施設工事の要望も非常に多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	市道の、農林道の安全施設の老朽化が進み、修繕を必要としている箇所が多く、なおかつ、設置工事が容易で安全性が非常に高い。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	交通安全施設整備の優先順位を様々な視点から考慮する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

交通安全施設の道路反射鏡、防護柵、区画線、路面標示、標識などの老朽化した施設の更新、危険な箇所への新規の設置を順次進める

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
整備の要望は年々増え続けているが、整備の優先順位を決め、計画的に実施をしていく。		市民の交通安全に対するいしきは非常に高い。緊急度の高い箇所より計画的に進めていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	